



平成29年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月13日

上場会社名 株式会社白鳩 上場取引所 東
 コード番号 3192 URL <http://www.shirohato.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池上 勝
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 服部 理基 (TEL) 075-693-4609
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の業績(平成28年9月1日～平成29年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	3,765	11.9	137	△5.5	100	△27.7	61	△28.1
28年8月期第3四半期	3,365	12.4	145	51.1	139	50.5	86	59.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年8月期第3四半期	13.64		13.56					
28年8月期第3四半期	22.43		22.25					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第3四半期	3,550	1,347	37.9
28年8月期	3,113	777	25.0

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 1,347百万円 28年8月期 777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年8月期	—	0.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	11.0	255	41.8	207	29.3	143	39.6	29.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期3Q	4,820,200株	28年8月期	3,854,900株
② 期末自己株式数	29年8月期3Q	64株	28年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期3Q	4,544,213株	28年8月期3Q	3,844,352株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、消費者マインドに持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調が続いておりますが、海外の政情不安等もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社におきましては、開発が遅れておりましたOEM商品の販売を開始するなど、利益率の向上にも取り組む一方、顧客満足度の向上による他サイトとの差別化を図るべく、各種施策を実施した結果、Yahoo!ショッピングにおいて2016年間ベストストアのレディースファッション部門1位を、Wowma(旧DeNA)においてベストショップ大賞2016にてインナー・ルームウェアカテゴリ賞をそれぞれ受賞することができました。

また、小田急電鉄株式会社との資本業務提携のメリットを享受するべく、乗降客向け紙媒体におけるクーポンキャンペーンの実施や、車両内への広告の掲出を行うとともに、同社グループとの間で、さらなる連携を深めるための施策につき協議を重ねてまいりました。

この結果、第3四半期累計期間における売上高は3,765,187千円(前年同期比11.9%増)、営業利益は137,131千円(前年同期比5.5%減)、経常利益は100,718千円(前年同期比27.7%減)、四半期純利益は61,987千円(前年同期比28.1%減)となりました。

なお、当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、3,550,984千円となり、前事業年度末と比較して437,829千円の増加となりました。

流動資産は1,688,077千円となり、前事業年度末と比較して421,192千円の増加となりました。その主な要因は、商品の増加(前事業年度末より228,130千円増加)、現金及び預金の増加(前事業年度末より146,828千円増加)、売掛金の増加(前事業年度末より26,667千円増加)及び繰延税金資産の増加(前事業年度末より12,771千円増加)によるものであります。

固定資産は1,862,907千円となり、前事業年度末と比較して16,637千円の増加となりました。その主な要因は、繰延税金資産の増加(前事業年度末より37,978千円増加)、ソフトウェアの減少(前事業年度末より12,746千円減少)及び減価償却による建物(純額)の減少(前事業年度末より14,767千円減少)によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は2,203,962千円となり、前事業年度と比較して131,842千円の減少となりました。

流動負債は922,486千円となり、前事業年度末と比較して22,805千円の減少となりました。その主な要因は、買掛金の増加(前事業年度末より113,449千円増加)、支払手形の増加(前事業年度末より32,403千円増加)、未払費用の増加(前事業年度末より17,334千円増加)、賞与引当金の増加(前事業年度末より16,943千円増加)及び短期借入金の減少(前事業年度末より200,000千円減少)によるものであります。

固定負債は1,281,476千円となり、前事業年度末と比較して109,037千円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少(前事業年度末より103,746千円減少)によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は1,347,022千円となり、前事業年度末と比較して569,672千円の増加となりました。その主な要因は、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ増加(前事業年度末より各250,484千円増加)したこと、四半期純利益の計上と繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部の見直しに伴い利益剰余金が増加(前事業年度末より99,089千円増加)したこと及び配当金の支払いにより利益剰余金が減少(前事業年度末より30,839千円減少)したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年10月13日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	154,035	300,864
売掛金	309,051	335,718
商品	711,925	940,055
貯蔵品	15,671	14,666
前渡金	1,104	114
前払費用	16,258	17,995
繰延税金資産	20,143	32,914
未収入金	37,883	45,388
その他	2,225	1,911
貸倒引当金	△1,413	△1,552
流動資産合計	1,266,885	1,688,077
固定資産		
有形固定資産		
建物	481,153	481,903
減価償却累計額	△116,947	△132,465
建物(純額)	364,206	349,438
構築物	18,638	18,638
減価償却累計額	△10,679	△11,733
構築物(純額)	7,958	6,905
機械及び装置	9,136	9,136
減価償却累計額	△4,263	△4,900
機械及び装置(純額)	4,873	4,236
工具、器具及び備品	54,959	59,163
減価償却累計額	△47,285	△50,658
工具、器具及び備品(純額)	7,673	8,505
土地	1,291,928	1,291,928
リース資産	39,741	39,741
減価償却累計額	△23,788	△25,477
リース資産(純額)	15,952	14,263
有形固定資産合計	1,692,593	1,675,277
無形固定資産		
ソフトウェア	84,313	71,567
無形固定資産合計	84,313	71,567

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年5月31日)
投資その他の資産		
保険積立金	54,378	58,663
従業員に対する長期貸付金	2,090	1,763
出資金	813	813
差入保証金	5,695	8,078
敷金	5,830	5,830
破産更生債権等	648	376
長期前払費用	446	2,873
繰延税金資産	—	37,978
貸倒引当金	△539	△313
投資その他の資産合計	69,363	116,062
固定資産合計	1,846,270	1,862,907
資産合計	3,113,155	3,550,984
負債の部		
流動負債		
支払手形	140,348	172,752
買掛金	253,220	366,669
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	138,329	138,329
リース債務	4,262	4,341
未払金	131,586	110,135
未払費用	25,647	42,982
未払法人税等	15,644	29,692
未払消費税等	2,673	3,193
預り金	3,641	4,181
賞与引当金	23,931	40,875
返品調整引当金	570	3,024
ポイント引当金	1,545	1,709
その他	3,889	4,598
流動負債合計	945,291	922,486
固定負債		
長期借入金	1,255,839	1,152,092
リース債務	4,736	1,470
長期未払金	7,500	2,319
役員退職慰労引当金	121,505	124,784
資産除去債務	800	808
繰延税金負債	131	—
固定負債合計	1,390,514	1,281,476
負債合計	2,335,805	2,203,962

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	276,883	527,614
資本剰余金		
資本準備金	266,883	517,614
資本剰余金合計	266,883	517,614
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	232,083	300,333
利益剰余金合計	233,583	301,833
自己株式	—	△39
株主資本合計	777,349	1,347,022
純資産合計	777,349	1,347,022
負債純資産合計	3,113,155	3,550,984

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	3,365,069	3,765,187
売上原価	2,000,182	2,299,073
売上総利益	1,364,886	1,466,114
返品調整引当金繰入額	44	2,454
差引売上総利益	1,364,842	1,463,659
販売費及び一般管理費	1,219,680	1,326,528
営業利益	145,161	137,131
営業外収益		
受取利息	45	33
為替差益	232	—
債務勘定整理益	23	230
協賛金収入	1,517	474
助成金収入	764	335
償却債権取立益	50	30
開発支援金	—	700
雑収入	603	298
営業外収益合計	3,236	2,101
営業外費用		
支払利息	7,893	8,757
為替差損	—	432
支払手数料	—	25,709
株式交付費	—	2,410
コミットメントフィー	696	736
雑損失	520	467
営業外費用合計	9,110	38,514
経常利益	139,288	100,718
特別損失		
訴訟関連損失	—	7,900
特別損失合計	—	7,900
税引前四半期純利益	139,288	92,818
法人税、住民税及び事業税	49,395	44,609
法人税等調整額	3,667	△13,779
法人税等合計	53,062	30,830
四半期純利益	86,225	61,987

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年11月27日 定時株主総会	普通株式	28,789	7.50	平成27年8月31日	平成27年11月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月29日 定時株主総会	普通株式	30,839	8.00	平成28年8月31日	平成28年11月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年11月18日付で、小田急電鉄株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が250,484千円、資本準備金が250,484千円増加し、第3四半期会計期間末において資本金が527,614千円、資本準備金が517,614千円となっております。

また当社は、第1四半期会計期間より、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。これに伴う影響は、「注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前事業年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が37,101千円、利益剰余金が37,101千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。